

## 「平成25年度 秦野市議会に提言」に対する回答について

### 提言No.1 及び提言No.2 の回答

昨年の提言につきましては、ご意見としてお伺いいたしました。

また、議会報告会でも説明しましたように、ご参加いただいた皆様方からのご意見やご要望、並びにご質問等については議会事務局ホームページに掲載いたします。なお、ご質問等に対する回答につきましては、ホームページへの掲載をもって回答とさせていただきますのでご理解ください。

### ※提言No.3 からNo.6 までは執行部からの回答です。(原文のまま掲載)

#### 提言No.3 の回答

「大根川ポンプ場建設」、「浄水管理センター増設」、秦野市伊勢原市環境衛生組合の「クリーンセンター建設」など、市民の安全で快適な暮らしに欠かせない、都市基盤の整備に取り組みました。

また、次代を担う子どもたちのため、子育て支援の充実、地域主権改革を踏まえた市民力、地域力への支援、本市の魅力ある自然環境や資源を生かした地域活性化などに取り組みました。

今後も、総合計画で掲げている「みどり豊かな暮らしよい都市」の実現に向け、市民の皆さんとの協働により、取り組んでいきます。

#### 提言No.4 の回答

新はだの行革推進プランにおいて『「入るを量る」施策の推進』を改革の視点として掲げ、未収金対策の強化や財産の有効活用などを推進し、財源の確保に努めました。この改革により生み出された財源については、総合計画の事業を推進するため活用することとなっていますので、今後とも着実な推進を図っていきます。

#### 提言No.5 の回答

本市は、平成23年3月に秦野市総合計画HADANO 2020プランを策定しました。都市像は「みどり豊かな暮らしよい都市」です。本市の魅力を外に発信し、本市が活力に満ち、未来に向かって輝き続ける存在感のある都市となるよう取り組んでいます。

#### 提言No.6 の回答

民間活力や経営資源の有効利用は必要なことと認識しています。

例えば、新はだの行革推進プランでは、民間活力等の有効利用という行政経営の考え方を取り入れ、「将来にわたる持続可能な行政経営と市民との多元的な協働による良質なサービスの提供」という経営理念を掲げ、この理念を実現するため、職員の英知を結集し、改革に取り組んでいます。

高齢化と人口減少が進む中、あらゆる分野において、より低い負担でより高いサービスを提供していくためには、「公民連携」を進めていくことが重要との認識は同じです。

今後も、民間の知恵と力もお借りしながら、持続可能な安心で安全なまちづくりに努力します。